

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)

【公開番号】特開 2014-86393 (P2014-86393A)
 【公開日】平成 26 年 5 月 12 日 (2014.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-024
 【出願番号】特願 2012-236901 (P2012-236901)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 37/22 (2006.01)

H 0 1 J 37/244 (2006.01)

H 0 1 J 37/28 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 37/22 5 0 2 H

H 0 1 J 37/244

H 0 1 J 37/28 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 29 日 (2015.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

請求項 2 に記載の荷電粒子線装置において、

前記画像処理部は、前記荷電粒子線の入射角度の校正時に測定された入射角度に基づいて、1 次的に測定される前記重ね合わせずれ量を補正する

ことを特徴とする荷電粒子線装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

すなわち、 θ_1 は本来計測されるべき値である D から、 $+L \cdot \tan \theta_1$ のずれ量を含む値となる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 8】

すなわち、 θ_2 は本来計測されるべき値である D から、 $-L \cdot \tan \theta_2$ のずれ量を含む値となる。